

4月

大腸がん検診について

消化器内科部長 **やぎ みつる**
八木 満



患者さんから「大腸がん検診の結果で便潜血反応陽性という通知が来ました。大腸がんなのでしょうか？不安で夜も眠られませんか。」という質問を受けました。「要精検」の通知が来て不安になっておられることと、胸中お察し致します。しかし、便潜血反応陽性＝大腸がんではありません。なんらかの理由で（がんも含めて）陽性反応が出たわけであり、大腸の現状を調べてみる必要があります。

現在一般的に行われている「大腸がん検診」の便潜血検査2日法では、要精検率は7～10%くらいとされています。検診受診者の中で大腸がんが見つかる人は、0.27%くらいと報告されており、「要精検を指摘された人でがんがある人」は理論上3%ほどということになります。また、がんではないが、腺腫という（良性）腫瘍性病変は比較的指摘率が高く、施設の規模にもよりますが20～40%くらいあります。その内5mm以上の大きさになると一般に切除の対象となることが多く（腺腫が大きくなると、一部ががん化してくることがあるため）、内視鏡で切除することがあります。その他にも、良性の非腫瘍性ポリープ・憩室・血管形態異常・痔等といった所見がみられることもあります。治療が必要かは臨機応変に決められます。便潜血陽性となった場合の2次検診、つまり精密検査は大腸内視鏡が行われます。内視鏡を行うにあたり「うんち」を出すために、前処置での多量の下剤服用が必要であったり、検査であるからには一定の負担感もちろんです。上に示したような様々な病気の有無について、直接内視鏡で見て判断出来るというのは大きなメリットだと思います。

要精検の結果で不安な気持ちでいることと思います。そんなモヤモヤした気持ちをすっきり出来るよう、ご自身の大腸の状態を把握するのは大事なことです。当院では最新型の内視鏡を準備し2次検診を含め、大腸内視鏡検査・治療を行っております。



富山ろうさい病院では、毎月、ケーブルテレビ「NICE TV」で放送中の行政番組「まちかど魚津」に、各診療科の医師が出演し、最新の医療情報を提供しています。

放送日程：2025年4月1日～4月15日

放送時間：①午前7時 ②午後1時 ③午後5時 ④午後10時

「(仮) 令和7年4月からの新しい診療体制について」

(出演者) 病院長 角谷 直孝、副院長 川崎 聡、副院長 石浦 嘉之



過去の放送はこちらのQRコードからも確認できます。



NICE-TV まちかど魚津

富山労災病院からのお知らせ



【過去の放送はこちらから】

URL <https://www.toyamah.johas.go.jp/movie/index.html/>